

《舞踊集団菊の会 プロフィール》

- 1972年 尾上菊乃里こと故郷時代によって設立。(六代自尾上菊五郎の劇演した尾上流で、二代自家元初代尾上菊之丞に薫陶を受けた。)
- 1976年 文化庁芸術祭において優秀賞受賞。「カッチャ行かぬかこの道を」これまで民俗芸能をモチーフにした舞踊劇を数多く創作。「藍の女」「にほん大通り」「阿国かぶさ」「追分の女」他)
- 1986年 外務大臣より表彰を受ける。(この前年、中近東5ヶ国を訪問)
※(現在までに世界延べ65ヶ国 107都市で外務省事業・文化庁事業等での海外公演を行っています。)
- 1988年 熊澤明監督の作品映画「夢」の振付を郷土時代が担当、俳優が出演。
- 1993年 第14回松尾芸能賞舞踊特別賞受賞。
- 1997年 東京新聞社主催の全国舞踊コンクール音楽部門で10年に亘り上位(1位2位3位)入賞。(平成9.10.11.12.13.14.15.16.17.19.30年度)
- 2014年 小泉堯史監督作品「蜷ノ記」の振付を郷土が担当、俳優が出演。
- 2016年 ヘルレ共和国に菊の会舞踊教室を開校。
(首都圏・京都の23教室で舞踊教室を続けている)

本公演実施日 【日付】	公演形態 【曜日】	都道府県 政令指定都市	市区 町村名	実施予定校	実施校以外の地元主催者
2019年6月18日	水	東京都	新宿区	新宿区立西野町小学校	東京都、新宿区
2019年6月19日	火	茨城県	行方市	行方市立麻生小学校	茨城県教育委員会
2019年6月20日	木	茨城県	神栖市	神栖市立深芝小学校	茨城県教育委員会・神栖市教育委員会
2019年6月21日	金	茨城県	鹿嶋市	鹿嶋市立高松小学校	茨城県教育委員会
2019年6月24日	月	東京都	練馬区	練馬区立向山小学校	東京都、練馬区
2019年6月25日	火	東京都	杉並区	杉並区立高井戸小学校	東京都、杉並区
2019年6月26日	水	千葉県	流山市	流山市立睦小学校	千葉県教育委員会
2019年6月27日	木	千葉県	千葉市	千葉市立徳迎小学校	千葉県教育委員会
2019年6月28日	金	東京都	葛飾区	葛飾区立北江小学校	東京都、葛飾区
2019年7月2日	火	千葉県	千葉市	千葉市立稲丘小学校	千葉県教育委員会
2019年12月2日	月	千葉県	佐倉市	佐倉市立佐倉東小学校	千葉県教育委員会
2019年12月4日	水	千葉県	松戸市	松戸市立新松戸西小学校	千葉県教育委員会・松戸市教育委員会
2019年12月10日	火	東京都	日野市	日野市立日野第三小学校	東京都、日野市

♪知ってますか?~10月1日は「国際音楽の日」です~♪

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



舞踊集団 菊の会
〒161-0031
東京都新宿区西落合 2-21-23
TEL 03-5983-6001 FAX 03-5983-6002
ホームページ: <http://www.kikunokai.co.jp>
E-mail: info@kikunokai.co.jp

れい わ が ん ん ど
令和元年度
ぶんかいじゆつ こどもせいせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 - 文 化 庁

《舞踊集団 菊の会 民俗芸能の魅力に迫る》



文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。

また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

舞踊集団 菊の会 民俗芸能の魅力に迫る

生演奏による臨場感に加えて、演目ごとの特色あるリズム感、情緒感、趣の異なる衣装や手にする道具等、視覚・聴覚に直接訴える迫力と古来から受け継がれ、込められてきた「願い」「思い」そして「祈り」を間近で体感してもらいます。日本各地の民俗芸能に触れることにより、自分たちの地元の民俗芸能にも興味を持つ良いきっかけになることを願い、道曲しました。



「さなぶり荒馬」(青森県)

田植え後に、豊作を祈願して奉納した芸能。
馬の形、獅子や猿も登場して賑やかな囃子で、客席後方から生徒の中を這って舞台まで楽しんでいきます。

「鹿躍」(岩手県)

長いササを背負い、腰に付けた太鼓を激しく打ち鳴らし急勾の踊り唄を自ら唄いながら勇壮に舞うダイナミックな芸能です。

ワークショップI

「装束をさわってみよう」

今舞台をつとめた鹿躍の衣装を外していき、装束や道具の解説をしながら頭や太鼓を代表の生徒さんにつけてもらい演者と一緒に簡単な振りや踊りを踊ってみて実際の重さ感を体験して頂きます。



「鬼剣舞“一人加護”」(岩手県)

鬼面(仏の化身)を付け、刀と扇を扱いながら勇壮に踊ります。
鬼剣舞の故ある演目の中でも“一番庭”“八人加護”と共に剣舞を代表する演目です。



「百姓おどり」(岩手県)

五穀豊穡を祈願し奉納されてきた踊りで、一年間のお米作りの中で鎌や鎌を使って伝統的な農作業の様子をコミカルに踊ります。



「節山囃子」(秋田県)

節山という人形などを飾った山車の上で演じられてきた芸能で、秋田の祭りに娘たちが華やかに踊ります。

「傘おどり」(鳥取県)

昔、雨乞いのために踊られたのが始まりとされるこの踊りは、鈴と色紙で飾った傘を廻しつつ、元唄“貝殿節”にのせて踊ります。



「銭太鼓」(島根県)

かつては竹の筒の中に古銭を入れて、両端にふさを付けたリズム楽器の銭太鼓を打ち振って“隠岐相撲取節”にのせてリズムカルに踊ります。



ワークショップII

「日本の楽器の音色を体験」

日本の伝統的な楽器を紹介。(三味線・太鼓・締め太鼓・笛・箏)

「阿波踊り」(徳島県)

築城の祝いに城主が、武士も町民も踊ってなく踊らせたのが始まりとも言われています。日本三大盆踊りの一つです。



「八木節」(群馬県)

提灯、菘豆、花豆、唐傘等を扱いながら活気のある囃子と唄で明るく賑やかに踊ります。

〈代表の生徒さんも踊ります。〉

